



発行所
〒010-0946
秋田市川尻総社町14-6
総社神社
<http://sosha-j.jp>

総社神社と杜の緑

社報「香雲」

創刊に当って

総社神社 宮司 川尻 孝紀



総社神社は
今年平成二十
六年で、創祀
一千二百九十

年を迎えました。後十年で一千三百年記念の佳節を迎える事となります。神社は鎮守の森と共に常に地域コミュニティの中心にあり続けて参りました。

日本人の生活は遠く縄文文化から弥生文化へ変化する中、私たちの生活基本である衣食住をはじめ、豊多様な文化は常に自然の恵み、祖先の知恵と技術によって支えられてきました。即ち人間の努力と天地の神様のお陰に外なりません。そこに神の恵みと祖先の恩に感謝する祭りを営む行為が自然発生的に行われてきました。

近代に入り、とりわけ昭和二十年の第二次世界大戦(大東亜戦争)終戦後六十九年を経た現在は、こうした目に見えない神様や祖先の恩恵

を感じ取る感性が衰えてきているように思います。

現在は今生きる人だけのものではなく、祖先の営みの集積の上に立ち、その文化や恩恵を未来に継承する役割が今を生きる私たちにはあります。

このたび一千三百年近い神社の歴史や伝統文化を思う時、八世紀初頭に日本の歴史書として初めて編纂された「古事記」序文に見える「稽古照今」や「修理固成」の言葉が思い起こされます。古(いにしえ)を考え、今を照らして見直す。また、この世は未だ不完全であり常に修理(繕いおさめ)固成(かためなす)によって栄えてゆくという考え方であります。

神社・神道は祭りによって神様と人間との精神生活に潤いを与えてきました。社会の絆が問われる現代、今こそ神社の果たすべき役割使命は重要さを増しています。

関係者一同心と力を合わせ神明奉仕に邁進していく所存です。このたび社報創刊にあたりましてのご挨拶といたします。

神社に伝わる古記録により
ますと、神社の創祀は神亀元年
(七二四年)聖武天皇の時代とい
われます。

その年三月八日の夜半に、三
森山(現秋田市千秋公園)という
所に突然と神光が飛来したそう
です。その光は真昼の如き輝き
を発して、山河は動鳴したとい
われます。近里遠村の人々は強
い驚きを感じていたところ、「我
は大己貴神(おこなむちのかみ)
なり。今ここに

一宮を創建し祀
らば、国中安泰・
諸人守護・五穀

豊穰といたさん。」という神勅が
下されたそうです。そこで人々
が神殿を建立し、八重事代主神
(やえことしろぬしのかみ)と
味鋤高彦根神(あじすきたかひ
こねのかみ)を左右相殿として
祀ったのが始まりと伝えられて
います。

平安時代奥州押領史藤原清衡
氏が社殿を再興した時に、その
御璽(みしるし)は影向の時に天
降りの磐座をもって社殿に納め

神社の歴史と由緒

祀ったものです。これより三嶽
山総社大明神と称して崇敬され
てきました。時が下り、源頼朝公
が東征後、家臣畠山庄次郎重忠
に命じて大嶽山、小嶽山、光明山
の三森を神領として広く村落を
鎮守し崇敬したと言われています。

さらに、関ヶ原の合戦後慶長
七年(一六〇二年)命により佐竹
氏が常陸から国替えになり秋田
を知行する際に居城を三森山

(神明山ともい
う)に定めたた
め、翌年に川尻
郷下浜(したは

ま)(秋田市榎山川口境)に仮遷
座と相成りました。下浜の地は
低地多湿のために神地としては
ふさわしくありませんでした。

その後久しく元禄七年
(二六五九年)に再び川尻上野岱
の仮社地へ遷されました。ここ
に社地成就して社殿造営にあた
り、本遷宮は宝永四年(一七〇七
年)九月六日と伝わっています。
以来川尻郷一帯(現在は川尻・山
王・川口・旭南・榎山南部)の総鎮

守として現在に至っています。

近世には藩主佐竹氏累代の崇
敬を受け社領宝物の寄進も多く
ありました。古来川尻の地は景
観がよく文人墨客の尋来も度々
あり、神宝・古記録等の文物も多
数収納されていましたが、昭和
六年の秋田市大火災で烏有に帰
してしまいました。総社神社は、
秋田藩内でも重要な社として扱
われ、明治維新後には県社に列
格されるなど、境内は香雲の霞
む森樹に囲まれて、今尚人々の
崇敬が篤い神社として親しまれ
ています。



幕末から伝わる由緒文書

年中祭礼と行事

睦月(一月)

元旦 歳旦祭
成人の日 どんと祭

如月(二月)

一日 厄年祓い・年祝い
三日 節分祭

卯月(四月)

二十九日 県特攻隊慰霊祭

皐月(五月)

十八日 春季例祭宵宮祭
十九日 春季例祭当日祭

水無月(六月)

第三日 川尻鹿島祭
三十日 水無月大祓式

長月(九月)

十五日 観月祭

神無月(十月)

十八日 秋季例祭宵宮祭
十九日 秋季例祭当日祭

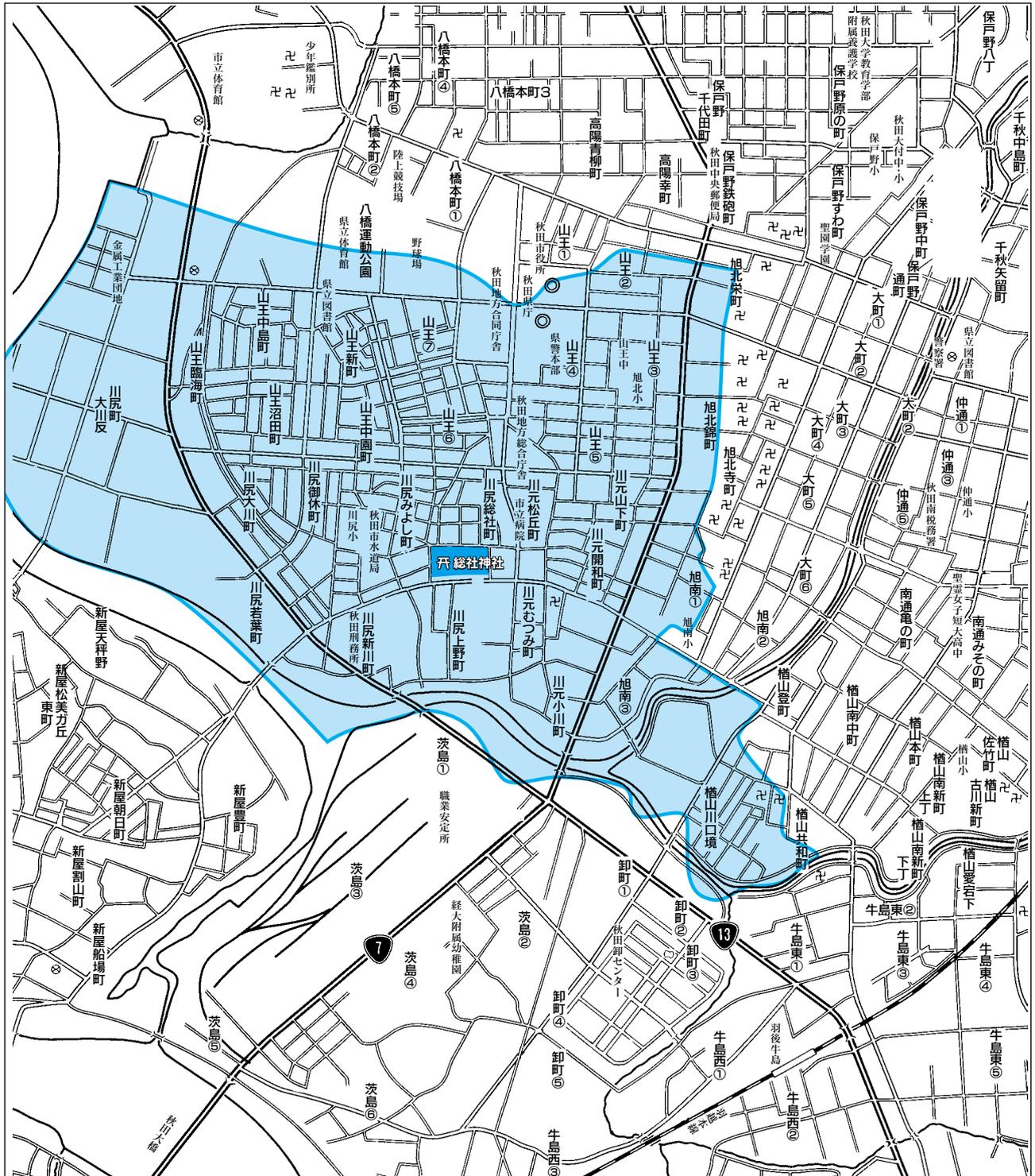
霜月(十一月)

十五日 七五三祝福祭

師走(十二月)

大晦日 師走大祓式

総社神社氏子区域図



大正15年、旧南秋田郡川尻村は秋田市に編入となり川尻町となりました。当時の人口は約三千人、戸数553戸でした。戦後昭和三十年代から四十年代にかけ、国の高度経済成長と共に川尻町は、土地区画整理事業により、県庁・市役所をはじめ国家施設が建設され、田畑は住宅や商工業地に激変しました。神社境内は昔の面影を今に伝え川尻、山王、川口、旭南、榎山南部の総氏神として現在も氏子地域他多くの人々から篤く崇敬されています。

今年の祭礼行事曆
平成二十六年元日～九月

- 一月
 - 元旦 歳旦祭
 - 十三日 (成人の日)どんと祭
 - 敬神婦人会餅作り奉仕
 - 十九日 月次祭
 - 二十日 ブラウブリッツ秋田
 - 必勝祈願祭
 - 大寒褌 秋田県神道青年協議会
 - 二十五日 青年会新年会
- 二月
 - 二日 節分祭豆まき神事
 - 十一日 建国記念の日奉祝
 - 秋田県大会
 - 十九日 月次祭
- 三月
 - 十九日 月次祭
 - 二十三 佐藤一氏(青年会長) 叙勲祝賀会
- 四月
 - 五日 境内清掃 打合せ会
 - 十日 崇敬会理事会
 - 十二日 第一回境内清掃

- 五月
 - 三 第二回境内清掃
 - 十四日 敬神婦人会清掃奉仕 同総会
 - 十七日 例祭準備作業
 - 十八日 春季例祭宵宮祭
 - 十九日 春季例祭当日祭
 - 二十日 片付け作業
- 六月
 - 一日 秋田県鳶土木連合会 安全祈願祭(纏振り・梯子ごの乗り奉納)
 - 五日 川尻小学校ふるさと学習(雅楽演奏)
 - 七日 第三回境内清掃
 - 十五日 鹿島祭り(西表町・毘沙門町・肝煎町)
 - 十九日 月次祭
 - 二十二日 青年会例会
 - 二十三 東京 小野照崎神社 小野貴嗣宮司正式参拝
- 十九日 月次祭・崇敬会総会
- 二十六日 青年会総会
- 二十九日 秋田県出身特攻隊 慰霊祭
- 記念講演
- 総社神社宮司講演

- 七月
 - 一日 川尻内堰組合虫祭講むしよけまつり 蝗除祭
 - 五日 第四回境内清掃 氏子青年会東北大会 (山形県寒河江市)
 - 七日 赤レンガ郷土館七夕祭 雅楽演奏、神楽奉奏
 - 十二日 氏子青年会交流会 (三皇熊野神社宵宮祭)
 - 十九日 月次祭
 - 二十四日 秋田県敬神婦人連合会 総会参加
 - 二十六日 青年会例会
- 八月
 - 二日 第五回境内清掃
 - 十七日 川尻の夏祭り(境内)
 - 二十九日 秋田県神社庁 中央支部総代会総会
- 九月
 - 六日 第六回境内清掃
- 二十七日 秋田県神社庁中央支部 総代会参拝旅行
- 二十八日 刑務所安全祈願祭 (秋田刑務所)
- 三十日 夏越の大祓式

- 十月以降の祭礼行事予定
 - 八月 十五夜「観月祭と邦楽の夕べ」琵琶、尺八、能楽、雅楽演奏
 - 十九日 月次祭
 - 二十日 ポーイスカウト秋田 第31回総会
 - 二十七日 青年会例会
 - 十月
 - 十八日 秋季例祭宵宮祭
 - 十九日 秋季例祭当日祭
 - 十一月
 - 十五日 七五三参り
 - 下旬 干支大絵馬揮毫
 - 十二月
 - 第一日曜 干支大絵馬奉納式
 - 下旬 煤払い
 - 十九日 月次祭
 - 二十八日 餅つき行事
 - 同青年会・敬神婦人会 奉仕
 - 大晦日 師走大祓式



写真で見る
年中祭礼行事

神道の知識 いろいろ

●氏神さまとは どんな神様？

氏神さまは、住
民・地域をお守り
くださる神さま

(神社)です。本来は同じ一族〓氏族
がおまつりしていた神さまを氏神
といいましたが、後に主として地域
の守り神〓鎮守さまを意味するよ
うになりました。

氏神さまに守護される地域の
人々を全て氏子といい、住所によつ
て氏神・氏子の関係が定められてい
ます。

●氏神さまと地域の関係は？

春秋のお祭りは、元々お米や五穀
の豊穰や大漁などを祈り、また感謝
する意味があります。

私たちの祖先は、氏神さまへの感
謝と祈りの生活を中心に、役割を分
担しながらお祭りを行うことで、村
〓地域共同体の和を保ち、地域発展
のために努力してきたのです。

●氏神さまと私たちの関わりは？

私たちの一生は、生まれてから死
ぬまで、生活の節々で感謝と祈りを

神さまに捧げ、その関係は多種多様
です。

先ず関わりの深い人生儀礼を見
てみましょう。

安産祈願・初宮参り・七五三参り・
成人式・神前結婚式・厄祓い・年祝
い・自動車の清祓・葬儀など。

次に建築儀礼を見てみましょう。
住居である家の建築に際し行う
儀礼は主に、地鎮祭・上棟祭・竣工祭
が行われます。

私たちの生活の中で行われる儀
礼やまつり事が身近であることが
わかるでしょう。

●氏神さま以外の神さま(神社)

にはお参りしなくてもいいの？

全国には八百万神やおよぼうのかみといわれるほ
どたくさんのお神さまが神社にお祭
りされています。神さまのはたら
きがそれぞれ違う事から、氏神さま
以外の神さまを崇敬参拝すること
はよくあります。但し、氏神さまへ
のお参りは欠かさないようにしま
しょう。

●お神札みだはどのように受けるの？

氏神さまから、伊勢の神宮のお神

札と氏神さまのお神札を受けます。
年末には、新しいお神札を受けて、
清々しい気持ちで新年を迎えま
しょう。
神宮大麻じんぐうたいまは「神明さま」とも呼ば
れています。



お守りは、神さまのご加護をいた
だくために身に付けるものです。

お神札のように一年ごとに受け
てもよいし、願いがかなうまで身に
付けていてもよいでしょう。

また、引越した場合は、新しい
地域で氏神さまが変わりますので、
新しい氏神さまからお神札を受け
て神棚にお納めし、前の氏神さまの
お神札もその年が終わるまで一緒
におまつりしましょう。

身内に不幸があった場合は、親子
関係で最長五十日(忌中)は、神棚に
白紙を貼り閉じておき、忌明けに
なったら普段通り神棚に供物を捧
げておまつりしましょう。その他疑
問がありましたら神社へお問い合わせ
わせてください。

お知らせ

★神社では、人生儀礼・建築儀礼
の神事を随時ご奉仕してい
ます。お気軽にお問い合わせ
ください。

★神社では、社務所和室を改修
し地域の集会はじめ、生け花
の会、尺八の稽古など習い事
に開放しています。是非ご利用
ください。

★紙面の関係で掲載できなかつ
た記事もたくさんありまし
た。今後の紙面充実のため
に、皆様からの投稿(随想・俳
句・和歌・絵画・イラストな
ど)をお願いいたします。

★毎月十九日午後五時三十分よ
り神前で月次祭を斎行して
います。月に一度は氏神さま
へお参りしましょう。

★神社の活動組織、氏子崇敬会・
青年会・敬神婦人会へ是非ご
加入ください。崇敬者であれ
ばどなたでも随時入会参加
できます。

★五月〓十一月の第一土曜日は
午前六時〓一時間ほど早朝
清掃奉仕を行っています。一
般住民も是非ご参加をお願
いいたします。



神社を支える組織と活動

責任役員 上村 敦

私たちの鎮守の杜、総社神社は神
元年(七二四)の創建とされ今年
で一二九〇歳になりました。

現在地に遷座してからは三〇七
年になります。

その総社神社を支えている組織
と活動の様子をご紹介します。

総社神社には総代会をはじめ、氏
子崇敬会、氏子青年会、敬神婦人会
の四つの組織があり、祭礼や諸行事
をそれぞれの立場で支え、活動して
います。

一、総代会(会員 一三名)

責任役員 上村 敦 廣嶋禮治
総 代 佐々木悟 瀬下和夫
黒澤 紘 渡部治美
佐藤三郎 佐々木錬治
近江友春 芳賀龍平
野田安雄 佐藤昭弘
安藤 進

総代会は、神社の中心的組織であ

り、主な活動は、春季・秋季例祭、月
次祭、歳旦祭等の祭礼行事への参列
や支援・奉賛活動です。

二、氏子崇敬会(会員 五〇名)

顧問 金田勝年 渡辺正宏
金田龍子 三浦芳博
上村 敦

会 長 佐藤三郎

副会長 廣嶋禮治 佐藤 一
伊藤武子

監 事 渡部治美 野田安雄
事務局 近江友春

崇敬会の主な活動は、総代会に準
じた活動ですが祭礼行事の推進と
崇敬者の増大を担っています。

三、氏子青年会(会員 二八名)

会 長 佐藤 一
副会長 渡部 顕 相原 敬

監 事 佐藤宗春
佐藤正臣

会 計 岩谷忠昭

氏子青年会は、神社すべての祭礼
行事で「縁の下の力持ち」を担って
います。特に春季、秋季例祭に於い
ては、お祭りの雰囲気醸し出す環
境づくりに努め、参拝者や地域の皆
様のために奉仕しています。

四、敬神婦人会(会員 五〇名)

顧問 川尻孝紀 金田龍子
会 長 伊藤武子
副会長 上村恵美 細谷寿子
楠見恭子

監 事 高橋玲子 佐藤陽子
事務局 加賀屋知子

敬神婦人は、主に祭礼行事の奉
仕活動を行っています。特に、春季・
秋季例祭と歳旦祭前の清掃活動や秋
季例祭時の出店開催に当っては、周
到な計画、準備のもとに実施され、好
評を博しています。年末の餅つきや
「どんと祭」の餅つき行事に於いても
大きな力を発揮しています。

以上、神社を支えている組織につ
いてご紹介いたしました。

私は、総社神社のみならず神域に
入ると自然に厳かな気持ちになり
ます。特に拜殿でお祓いを受ける時
の神職の祝詞並びに神楽や雅楽を
拝聴していますと、身も心も洗われ
るような気持ちになります。

総社神社は、私たちの氏神さま
(地域の守り神)です。地域の皆様と
共に普段から神社を崇敬し、歴史あ
る往時を偲びつゝ、今後益々隆盛・発
展するよう願っていききたいと思っ
ています。

その他の活動組織

ボーイスカウト活動について
ボーイスカウト秋田第31団は
宮司が育成会長となり総社神社
を母体として活動しています。
青少年の健全育成のため幼稚
園児から成人まで広く参加し
て地域から世界の仲間と繋がっ
ています。地域の小中学生の皆
さんも一緒に活動してみませ
んか!
明年夏は山口県で世界ジャン
ポリーが開催されます。

